

# 令和7年度 自己評価・学校関係者評価書

第三静岡学園 静岡学園幼稚園

## 1. 教育目標

- (1) 豊かな考え明るい子 (2) 誰にも親切やさしい子 (3) しんぼう強くがんばる子 (4) 丈夫な体の元気な子

重点目標・・・『自分で何でもやる子』

## 2. 園が取り組む目標

『主体的・対話的で深い学びの追求』

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	自己評価	理由	関係者評価
① 保育の計画性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の声に耳を傾け主体的に活動に繋がられるよう月案、週案を考えるようにしてきた。園庭に季節のコーナーを設定したことで、子ども達が主体的にかかわったり異年齢とのかかわりを楽しむことができた。</li> <li>1年を通して行事や保育の振り返りを行い、次年度に繋げることができた。</li> </ul>	A
②保育の在り方、幼児への対応	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものつぶやきや葛藤の場面をエピソード記録として残し、その背景にある願いや育ちを職員間で共有できた。</li> <li>遊びが深まるタイミングを見極め、適切な言葉かけや素材の提示などの援助を行うことで、子ども達が主体的に遊びを選択し、試行錯誤を繰り返す「遊びの芽生え」が見られるようになった。</li> <li>学年、園全体での話し合いを定期的に行うことで情報共有ができ、園全体で統一した支援ができた。</li> </ul>	A
③教師としての資質・能力・適正	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員同士の報連相を徹底し、円滑に保育業務ができるようになった。</li> <li>子どもにとって良きモデルとなるよう言葉使い、身だしなみ、挨拶など社会的マナーを常に意識して行動した。</li> <li>最新の動向を把握するため、ニュースなどから情報を収集したりして、外部研修に積極的に参加し自己研鑽に励んだ。研修で学んだ知識を職員間で共有することで、園全体の指導力の成果を上げた。</li> </ul>	A
④保護者への対応	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の様子を伝えられるようシール帳やおたよりなどで写真やコメントを使い丁寧に意識して行ってきた。園での様子がよくわかり、見るのを楽しみにしてくれている保護者が増えてやりがいを感じた。</li> <li>保護者からの意見は自分だけの問題とせず、必ず報告し学年、園全体の問題として解決に取り組んできた。</li> <li>保護者とは信頼関係が築けるよう、謙虚さを忘れずに丁寧なかかわりを心がけてきた。園での様子を肯定的に伝えるようにした。</li> </ul>	A
⑤地域の自然や社会との関わり	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長は公開保育で小学校の接続ができた。また、小学校との交流会が開催され子ども達が小学生と一緒に授業を受けたり、校内を見学したりして小学校への期待が膨らんだ。交流を通して、どんなことが求められているのか考える良い機会となった。しかし、限られた学校とのかかわりしかなかった。</li> <li>近くに総合運動場があるためお散歩に行った時に保育教諭が進んで挨拶をするようにし、畑のボランティアやお話の会では保護者との交流ができています。</li> </ul>	B
⑥研修と研究	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの課題に基づき、研修会に参加することで自分自身の学びが多かった。</li> <li>既製品に頼るだけでなく、子どもの現在の興味に合わせた手作り教材を提供することで、遊びの集中時間が長くなり深い学びが見られるようになった。</li> </ul>	A
⑦地域における子育て支援	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回の未就園児会では参加者が増えた。専任の担当教諭を置くことで入園前の不安を解消する相談窓口として機能し、スムーズな入園準備へと繋げることができた。</li> <li>遊びの会に毎回アンパンマンを登場させることで、参加者の増加傾向が見られた。毎回楽しみにしてくれている。</li> <li>近隣の中学校との連携で職場体験の受け入れを推進することができた。</li> </ul>	B
⑧保護者アンケート	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月のクラスだよりやシール帳で写真と共に子どもの様子を詳しく伝えてくれるのでありがたい。またInstagramやホームページのブログで園での様子がわかるのが良い。</li> <li>家庭で困ったことや子どもの悩みを相談すると、園での声かけや対応の仕方を丁寧に教えてくれ、保護者に寄り添ってくれる先生方がたくさんいる。</li> </ul>	A

(評価段階) A：よくできている、B：概ねできている、C：あまりできていない、D：できていない

#### 4. 本年度、重点的に取り組む目標の総合評価

『主体的・対話的で深い学びの追求』

- ・「子ども会議」を定期的を実施し、生活のルールや遊びの内容を子ども達が決定するプロセスを重視した。意見の対立が起きた際も、子ども達が「どうすればいいのか」を粘り強く話し合う姿が見られた。
- ・遊びの中や日々の活動において、子ども達が自ら発見や疑問を持つことで試行錯誤を繰り返し、コーナー遊びへと遊びを広げるなど、探求のサイクルがみられるようになった。
- ・保育の質の向上に組織的に取り組み、振り返りにより保育内容の改善や役割分担の見直しを行い、職務に応じた知識及び技能を身につけることができた。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育ちを意識した保育の工夫</li> <li>・幼小接続、かかわりの具体化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人の個人記録を充実させることでより深い子ども理解を行っていく。また、10の姿を意識した保育を設定していく。</li> <li>・積極的に小学校に働きかけ、近隣の小学校との接続を続けていく。公開保育を継続し、小学校の先生を招き、遊びが学びに繋がっていることを知ってもらい、保育教諭と小学校教諭の相互理解を深める。</li> <li>・入学直後のギャップをなくすためにスタートカリキュラムの共同作成を行う。</li> </ul>

#### 6. 関係者評価委員からのコメント

- ・毎月のクラスだよりやシール帳で写真と共に子どもの様子を詳しく伝えてくれるのでありがたい。
- ・Instagramやホームページのブログで園での様子がわかるのがとても良い。
- ・家庭で困ったことや子どもの悩みを相談すると、園での声かけや対応の仕方を丁寧に教えてくれ、保護者に寄り添ってくれる先生方がたくさんいる。
- ・発達のことや不安なことも園に相談すると親身になって考えてくれ、家庭と園とで連携し指導してくれるので心強い。
- ・担任の先生以外の先生たちが、学年を越えて子ども達の名前を覚え、一緒に遊ぶ姿を見ると安心できる。
- ・大勢の園児がいるのに保護者や子どもの名前を覚えてくれていて、園での様子を伝えてくれるので嬉しい。
- ・様々な行事や体験をさせてくれるのでとても良い。
- ・先生方が子ども達のことを第一に考えてくれていて、丁寧に向き合ってくれるので嬉しい。
- ・課外教室が充実していて園にいながら習い事ができることは助かる。
- ・今年度の運動会は総練習から本番まで全て先生方が準備してくれて、先生方の負担は大きかったと感じる。保護者としてはゆっくり応援することが出来て良かったが、父母の会もお手伝いできることがあったらどんどん言って欲しい。
- ・役員の活動を通して、今まで以上に先生方や保護者の方とのかかわりが増え、子ども達のことを考えてくれていることを実感することができた。

